

簡単に作れてとてもきれいな「光の箱」

青森・野呂茂樹

下記のHPに紹介されている松村泰三氏考案の「光の箱」は、カラーセロファンで好みの色をつけた光線を、ミラーフィルムに反射させ、トレーシングペーパーのスクリーンに映し出されています。光源や光の方向を変えるたびに、いろいろな模様が映し出されて、とても魅力的です。

市販キットで楽しんでいたら、4歳の孫が“きれい！”と、とても関心をもって、彼なりの作品を作り始めました。とても、実用には耐えない作品でした。そこで、低年齢の子どもでも作れるものを工夫しました。市販キットともどもお楽しみください。

<http://www.canvas.ws/jp/challenge/01.html>

http://plaza.harmonix.ne.jp/~taizo/n_hp/work_page/kit.html

<http://otonanokagaku.net/feature/vol9/index.html>

【材料・準備】

100円ショップで、全ての材料を揃えることができます。工作する子どもの年齢にあわせて、ごしらえをしましょう。

ふたつき透明容器A、B（同じ大きさのもの2個、1個でも十分楽しめます）

色セロファン数種。数cm角に切断します。

トレーシングペーパー。容器の口の大きさに切断します。

プレゼント用メタリックバッグ（銀、金でも可）。容器の深さの幅に短冊に切断します（はさみでも切断できますが、カッターナイフを用いるときれいに切断できます）。【以下、フィルム鏡と表します】

油性カラーインクペン数種。

そのほかに、はさみとのりを準備してください。

【つくり】

容器Aの内底に、数種のカラーセロファンの切片を、のりで（軽く）貼りつけます。

短冊状のフィルム鏡を、のりで（軽く）つなぎ帯状にし、蛇のようにくねくねと折り曲げて、容器Aの中に立てた状態で入れます。

容器Aの口の大きさに切断したトレーシングペーパーを、その上に重ねます。

* セロファン側を光にかざし、スクリーン（トレーシングペーパー）に映った模様を見てください。淡い色のきれいな模様が見えるでしょう。

容器Bの内底（または外底）に、数種の油性インクを、場所を分けて塗ります。



带状のフィルム鏡とセロファンを貼った容器



ふたとスクリーンとフィルム鏡を内蔵した容器 A



ふたをした容器 A と着色した容器 B

【使い方】

容器 A のセロファン側を光にかざし、スクリーンに映った模様を楽しみます。

容器 A に容器 B を被せ、同様に、スクリーンに映った模様を楽しみます。

容器 B を回転させると、模様の変化を楽しむことができます。光の重ねあわせにより、いまままで、見えなかった色も現れます。



【友人の作品例】



マジックフィルムを通して見ると



照明を選ぶとよりきれい！



写真左上・右下は色画用紙での切り絵をかぶせています。

カラービー玉と2重の容器。ビー玉が動く色模様が変わります。